

労働者派遣事業を行う事業所の**新設**（変更）届 にかかると必要書類（**法人**）

労働者派遣事業を行う事業所を新設する場合にあつては、事業を開始するに先立って、管轄労働局に事業計画の概要及び派遣元責任者となる予定の者等について説明を行ってください。

その上で、事業所を新設した日の翌日から起算して10日以内に、原則として事業主管轄労働局に下記①～⑩の書類等を提出してください。なお新設する事業所においても、労働者派遣事業の「許可基準」の所定の要件を満たす必要があります。

①労働者派遣事業変更届出書（様式第5号） 【正本1部・コピー2部】

②労働者派遣事業計画書（様式第3号） 【正本1部・コピー2部】

③キャリア形成支援制度に関する計画書（様式第3号-2） 【正本1部・コピー2部】

④雇用保険等の被保険者資格の状況報告書（様式第3号-3） 【正本1部・コピー2部】

派遣労働者のうち、雇用保険または健康保険・厚生年金保険の未加入者がいる場合に必要です。

⑤自己チェックシート（様式第15号） 【正本1部・コピー1部】

⑥派遣元責任者の住民票 【正本1部・コピー1部】

本籍地の記載があり、個人番号（マイナンバー）の記載が無いものに限りです。

外国籍の方は国籍および在留資格(特別永住者の方は国籍および特別永住者であること)が記載されたものが
必要です。

届出の受理日前3か月以内に証明されたものを提出してください。

⑦派遣元責任者の履歴書 【正本1部・コピー1部】

氏名・住所（居所）・生年月日のほか、最終学歴から現在までの職歴、役員への就任解任状況、賞罰の有無を記載してください。写真の貼付は不要です。

職歴に空白期間がある場合は、その期間にかかる説明を記載（求職活動、開業準備等）してください。

「雇用管理の経験」等の要件を満たすことについても明記してください。

⑧派遣元責任者講習受講証明書 【コピー2部】

選任した派遣元責任者の、「派遣元責任者講習受講証明書」の写しを添付してください。

受講日が、届出の受理日前3年以内のものに限りです。

⑨法人税の確定申告書の写し（別表1および別表4） 【コピー2部】

最近（直近）の事業年度のものに限りです。

納税地の所轄税務署の受付印があるものを提出してください。電子申告の場合は、納税地の所轄税務署に受け付けられた旨が確認できるもの（e-tax 受信通知「メール詳細」を印刷したもの）の添付が必要です。

連結納税制度を採用している場合は、下記書類を提出してください。

○連結法人税の確定申告書の写し（別表1の2「各連結事業年度分の連結所得にかかる申告書」および「個別帰属額等の一覧表」のみで可）

○連結法人税の個別帰属額の届出書および別表4の2「個別所得の金額の計算に関する明細書」

○連結欠損金当期控除額及び連結欠損金個別帰属額の計算に関する明細書（別表7の2付表1）

※作成した場合のみ提出してください。

⑩納税証明書「その2」（法人税の所得金額の証明書） 【正本1部・コピー1部】

- 最近（直近）の事業年度のものに限ります。
- 連結納税制度を採用している場合は、連結所得金額に関するものを提出してください。

⑪貸借対照表・損益計算書・株主（社員）資本等変動計算書 【コピー2部】

- 最近（直近）の事業年度のもので、納税地の所轄税務署に提出したものに限りま。
- 設立後最初の決算期を終了していない場合は、会社（法人）設立時の貸借対照表を提出してください。

⑫事業所の使用権を証する書類 【正本1部・コピー1部（賃貸借契約書はコピー2部）】

- 不動産の登記事項証明書、賃貸借（使用貸借）契約書により確認します（建物のみ）。
- 転貸借の場合は所有者の転貸借にかかる同意書および原契約書の写しも併せて提出してください。
- 労働者派遣事業の事業所として、使用が可能なもの（使用目的・契約期間）に限ります。
- 参考資料として、事業所のレイアウト図（簡易なもので可）も併せて添付してください。

⑬個人情報適正管理規程 【コピー2部】

- 必要な項目が具備されている必要があります（モデル例あり）。

⑭派遣労働者のキャリア形成を念頭においた派遣先の提供のための事務手引、マニュアル等 【コピー2部】

- 派遣労働者に、派遣先の提供を行うにあたっての手引・マニュアル等の作成が必要です（モデル例あり）。

⑮就業規則または労働契約書の下記該当箇所の写し 【コピー2部】

- 教育訓練の受講時間を労働時間として扱い、相当する賃金を支払うことを原則とする取扱いを規定した箇所。
 - 無期雇用派遣労働者を労働者派遣契約の終了のみを理由として解雇しないこと、また有期雇用派遣労働者についても、労働者派遣契約終了時に労働契約が存続している派遣労働者については、労働契約の終了のみを理由として解雇しないことを規定した箇所。
 - 無期雇用派遣労働者または有期雇用派遣労働者であるが労働契約期間内に労働者派遣契約が終了した者について、次の派遣先を見つけれない等、使用者の責に帰すべき事由により休業させた場合には、労働基準法第26条に基づく手当を支払うことを規定した箇所。
- 上記の就業規則は、所轄労働基準監督署の受付印があるものに限ります。

⑯その他

- ①～⑮以外について、必要に応じて補足資料の提出が必要となる場合があります。
- ②～③および⑫～⑮については、新設する事業所ごとに必要となります。
- 手数料（収入印紙）は必要ありません。

問い合わせ先：兵庫労働局職業安定部需給調整事業課 TEL:078-367-0831